



14 体積表示・重量表示

smartCON
Planner
for ARCHICAD

ツールの呼び出し方

メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「体積表示」のアイコンを選択します



体積表示・重量表示のアイコンを選択します

作成方法

① 選択部材の体積・重量を確認する方法

体積表示ツール

6 名称 SCP
C1:

文字高(mm) 200

1 ARCHICAD レイヤー

2 体積算出方法(新規作成時に指定)
☒ 選択された要素の体積の合計
☐ ソーンもしくはモルフと
 重なる体積の合計

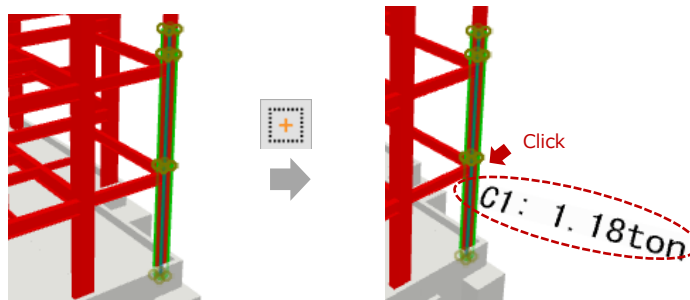
3 重量計算方法(新規作成時のみ指定)
☐ ビルディングマテリアル密度×体積
☒ 単位重量(ton/m³)×体積
 2.30

4 表示内容
☐ 体積 ☒ 体積(重量)
☐ 重量 ☐ 重量(体積)

集計対象の表示

目線 目線外 全て

- 1 体積表示オブジェクトを配置するレイヤーを選択します
- 2 [選択された要素の体積の合計]を選択します
- 3 [重量計算方法]を選択します
[単位重量×体積]では単位重量を指定して計算ができます
プルダウンメニューより基準となるビルディングマテリアルの選択が可能です
- 4 表示内容を選択します
- 5 必要に応じて数値の前に表示する名称を入力します
- 6 体積を求める部材を選択し  をクリック後、
体積を表示させたい位置をクリックします
部材は複数選択可能です





作成方法

② 指定範囲と重なった部材の体積・重量を確認する方法

体積表示ツール

7

+

名称

1工区CON:

6

文字高(mm) 200

2

ARCHICAD レイヤー

3

体積算出方法(新規作成時に指定)

☐ 選択された要素の体積の合計

☒ ゾーンもしくはモルフと重なる体積の合計

4

重量計算方法(新規作成時のみ指定)

☐ ビルディングマテリアル密度×体積

☒ 単位重量(ton/m³)×体積

 2.30

5

表示内容

☐ 体積 ☒ 体積(重量)

☐ 重量 ☐ 重量(体積)

リフレッシュアイコン

集計対象の表示

目線

目線外

☐ 全て

1 あらかじめ、ゾーンツールもしくはモルフツールで体積を求める範囲を作成します

2 体積表示オブジェクトを配置するレイヤーを選択します

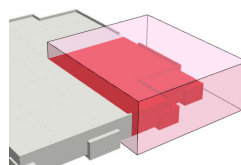
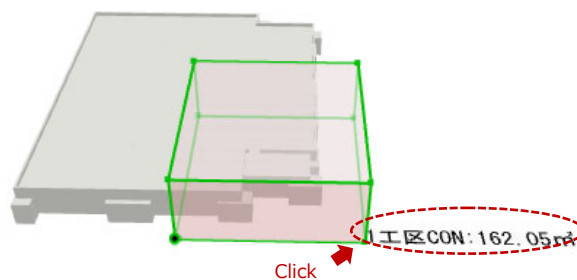
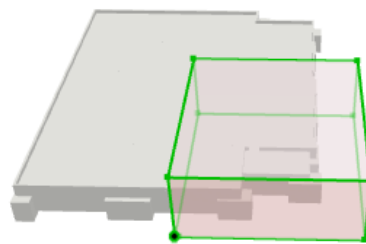
3 [ゾーンもしくはモルフと重なる体積の合計]を選択します

4 [単位重量×体積]のみ使用できます
単位重量を指定します
プルダウンメニューより基準となるビルディングマテリアルの選択が可能です

5 表示内容を選択します

6 必要に応じて数値の前に表示する名称を入力します

7 1 で作成したゾーン(モルフ)を選択したまま  をクリック後、体積を表示させたい位置をクリックします



対象はゾーンやモルフと重なった範囲のみ
※要素は切断されません



編集方法

配置した体積表示オブジェクトの表示内容や表示方向の変更が可能です

体積表示ツール

名称 SCP

C1:

文字高(mm) 200

ARCHICAD レイヤー

体積算出方法(新規作成時に指定)

☒ 選択された要素の体積の合計

☐ ソーンもしくはモルフと
重なる体積の合計

重量計算方法(新規作成時のみ指定)

☐ ビルディングマテリアル密度×体積

☒ 単位重量(ton/m³)×体積

2.30

表示内容

☐ 体積 ☒ 体積(重量)

☐ 重量 ☐ 重量(体積)

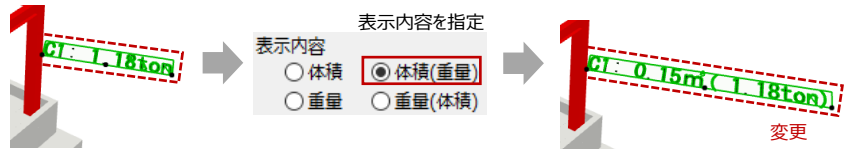
集計対象の表示

目線 目線リセット 全て

- 1 文字高さの変更
変更したい体積表示オブジェクトを選択し、文字高を指定します



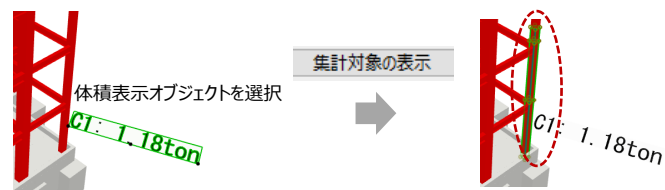
- 2 表示内容の変更
変更したい体積表示オブジェクトを選択し、表示内容を指定します



- 3 計算結果の更新
更新したい体積表示オブジェクトを選択し、[更新] をクリックします
算出対象部材や対象範囲のモルフなどの形状を変更した場合に使用します



- 4 集計対象の表示
確認したい体積表示オブジェクトを選択し、[集計対象の表示] をクリックします
対象の部材もしくは指定範囲が選択されます



- 5 表示方向の変更
変更したい体積表示オブジェクトを選択し、[目線] をクリックします
[目線リセット] でデフォルトの位置に戻ります

